

「デザイン体感・あかり／素材を知ろう」

一般社団法人 日本商環境デザイン協会

実施学年：6年
生徒数：4学級 93人

実施教科：総合学習
実施時間数：6時限

JCD Soda 委員会の出前授業形式ワークショップは 11 年目になりますが、11 月 27 日（火）九州地区で初めての出前授業を大分県杵築市立杵築小学校で開催いたしました。

杵築市は重要伝統的建造物群保存地区に選定されている城下町で、杵築小学校も江戸時代から綿々と続く歴史のある小学校です。

市長を先頭に行政が積極的に取り組んでいただき今回のワークショップが実現いたしました。

内容は以下に記しますが、このように歴史と文化のある町で育っている子供たちがどのような感性を持っているのか、どのような価値観をもっているのか、大変興味をもってワークショップに臨みました。完成した作品のほとんどに「杵築」の名前が入りどの作品も杵築のいいもの、いいところがテーマになっています。

給食の時、「先生はどこ？東京？東京、行ってみたいなあ～。でも、やっぱり杵築がいい!!」と言っていた子供たちが印象的でした。



学習のねらい

- 正規授業で扱われない空間デザインの分野を紹介する。
- 実際にプロが使う素材で模型を制作することによって、空間にイメージが付加されるプロセスを体験する。
- デザイン創造活動により、子供たち自らが持っている“創造して楽しむ力”を喚起する。

学習活動

- 寸法、素材、光源についてのレクチャー。
- 色温度による色の見え方・空間の印象の違いについてレクチャー。
- 実際の素材を使って、空間模型のグループ制作。
- 全グループによるプレゼンテーション（作品発表・講評）。

準備品

- ・スチレンボード（基材）・建築、インテリア素材（JCD）・接着剤、両面テープ、紙粘土など

実施場所

- ・多目的室・学習室

学習の流れ

場所・授業数	概要	活動の様子	反応
<p>多目的室</p> <p>1 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レクチャー① 「空間デザイン / 寸法・素材・光源のおはなし」 ・レクチャー② 「光とものの見え方・見せ方」 <p>※色温度の切り替えができる照明 BOX を使って、光の色温度の違いで色の見え方、空間の印象が違うことを体感。</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材、光源に「わー！」「おー！」といった歓声があがる。 ・色の見え方の変化に「こっちがいい！」といった反応。
<p>学習室</p> <p>3 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6 人のグループに分かれ、スチレンボードを基材に、JCD 賛助会員のメーカーから提供されたプロの素材を使ってモケイ (840×380×380mm) を制作。 <p>※各グループに JCD の講師 1 名が担当し指導。</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は何をどうしたらいいのか戸惑いながらも、講師からのきっかけにより、あっという間に子供たちの創造力が発揮される。 ・杵築の子供たちはみんなが“協力”しあう。
<p>プレゼンテーション</p> <p>2 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制作したモケイを照明 BOX にセットし照明の色温度を選択して、工夫をした点など、作品のプレゼンテーションを行う。 ・全グループの発表・講評。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの作品に興味しんしん。「すっげー!!」と感心したり、質問も飛び交う。

生徒の作品



・「きつきんゆ」温泉宿



・「ミカンワールド」デザートカフェ



・「杵築海鮮店」魚屋



・「杵築メチャ楽しんで!」博物館



・「きつき茶 café」



・「杵築天神祭の歴史へ Lets' go」



・「Kitsuki Memory」おみやげもの



・「レインボータイガー」ゲームランド



・「城下町ショップ」杵築限定商品

指導員の声

実施に当たり工夫した点
苦労した点

- 実施先の学校を見つけることに一番苦労するが、今回、杵築市長を先頭に積極的な行政の取り組みがあったため、マッチングがスムーズだった。
- 各々が仕事を持ちながらのボランティアのため、JCD 参加講師の確定が毎回苦労する。今回は本部主催で九州支部協力を得て実施。

児童・生徒の反応

- 楽しかった。明日もやりたい。でも疲れちゃうかな。
- 将来、自分の家を設計したい。
- 光に興味を持った。気になる。
- 先生、東京？東京に行ってみたいけど、やっぱり杵築がいいや。いいものいっぱいある。
- デザイナーになりたい!!

教師の変化
(担当、担当外を含めて)

- 担任の先生たち / 子供たちのこれまで見たことのない力を発見できました。
- 教育委員会 / みんなすごい。ワークショップを実施して良かった。

その他

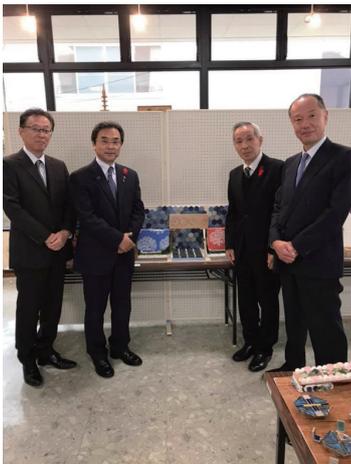
①今回のワークショップは杵築市の永松市長も参観されました。



②大分放送のTV・読売新聞・西日本新聞の取材がございました。



③子供たちの作品は、杵築市立生涯学習館で展示をしていただきました。



学校の先生からの声

①住教育授業を行った感想、児童・生徒の反応、授業効果などについてご記入ください

1時間目は、寸法・材料・光などの観点からお話をさせていただきました。子どもたちにとって、何気なく見たり聞いたりしている風景を、違う視点で見せてくれたように思います。特に、光による見え方の違いには驚きを感じたようで、驚きの声が上がっていました。

2時間目～3時間目の制作活動では、トイレに行くのも忘れるくらいに熱中している様子が見られ、子どもの意欲を感じました。他の授業も、このような学びの姿が見られるように工夫していかなければと思ったところです。また、子どもたちは建設的に意見を交わしながら、協力して作業を進めていました。口でいろいろ説明するよりも協力することの楽しさやすばらしさを感じてくれたのではないのでしょうか。

授業後も学校や生涯学習館で展示をしましたが、「すばらしい」という反応の多さに、子どもたちも嬉しそうでした。また、他の学年の児童も、残った材料で空間デザインをしようとしていました。6年生だけでなく、他学年にもよい影響を与えてくれたと感じています。

【担任からの感想】

国語や総合の学習と関連付けて実施していたのでより興味・関心も高まったのではないかと感じた。子どもたちは設計図を書く段階からグループで協力して楽しんで取り組んだ。当日も、自分たちで考えた建物や場所がいろいろな材料で表現できたので、満足度も達成感も味わえた。

【子どもの感想（日記より）】

空間デザインのプロと一緒に作れて、作りたいものが本当に再現できて、嬉しかった。杵築について考えることができて、杵築がより好きになった。

②助成を受けた団体様と、どのような経緯でお知りになり、住教育授業を受けるに至ったのか、ご記入ください。

総合的な学習の時間において「ふるさと再発見～物・人と関わりながら」というテーマで、学習を組んでいたところ、杵築市からJCDのSODAという事業の話をいただきました。2学期は特に商店街の活性化について考えるようにしていましたので、本校のテーマとも一致することから、お願いすることにしました。